

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:平成31年3月5日

事業所名 ぴっころ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		規定に基づき、活動スペースを確保しています	お子様の人数や活動内容に応じ、安全に活動できるよう配慮しています
	2	職員の配置数は適切である	7		基準以上(1日に4~6名)の配置をしています	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		階段などには手すりをつけています	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	ミーティングで課題検討や、意見交換を行っています	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者会や面談の際に出た意見などを活動や行事に取り入れています	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			今回からHPに公開予定です
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		外部評価などは実施出来ていませんが、機会があれば積極的に実施していきたいと思います
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		外部講師を招いての研修や、社内研修も実施しています	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		本人・保護者のニーズを聞き取り、お子さんの日々の様子を考慮しながら、計画書を作成しています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			簡易のアセスメントツールを使用しているが、今後はもっと掘り下げたツールを検討中です
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		日々のミーティングでスタッフ同士で意見を出し合い、活動プログラムを決めています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		季節の行事や、お子さんの特性を考えながら、活動内容を工夫しています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		お子さんの利用時間や季節に応じて、参加出来る行事やイベントなどを企画し、活動プログラムを組んで支援している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		保護者のご要望やお子さんの特性を考慮し、支援計画書を作成しています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		活動前にミーティングを行い、活動内容とねらい、スタッフの役割を事前に確認しています	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	終了後には行えていないが、翌日のミーティングで振り返りを行っています		
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		日々の記録の他、支援に対する記録を整備し、情報共有を図っています		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的に職員全員でカンファレンスを行い、評価、見直しを行っています	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7		ガイドラインを踏まえ、それぞれの活動を組み込み、支援を行っています	
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		支援会議には、管理者等が参加し、情報・意見交換を行っています。その後、会議内容を全職員に報告しています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		契約時には、必ず学校に出向き、連携を図って支援していけるよう、働きかけています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7			該当者がおらず、未実施であるが、受け入れの際は対応できるよう、囑託医と契約をし、体制を整えています
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1	気になるお子さんに関しては特に園と密に連絡を取り合い、情報共有に努めています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		7		該当者がおらず、未実施であるが、今後は障がい福祉サービス事業所とも連携を図っていこうと考えています
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		大阪市発達障がい者支援センター等の研修に参加しています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		現状では機会の設定が出来ていないが、今後検討していきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7		毎回、会議には管理者等が参加しています	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		日々の連絡帳のやり取りや、緊急時には電話連絡等により保護者と連絡を取り合っています	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	1		保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行うだけでなく、職員に対しても今後研修を行う予定です
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に丁寧に説明を行い、施設内に掲示しています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		保護者からの相談には随時対応し、助言を行っています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		月に一度、定期的に保護者会を開催し、保護者同士の意見交換や連携の場を設けています	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		保護者からの相談には迅速に対応させて頂いています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		保護者会の開催や、月に一度の通信の発行などを行っています	

	35	個人情報に十分注意している	7		情報ファイルは鍵付きの書庫に保管しています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		連絡帳や電話、面談などを通じて、お子さんの様子を保護者に伝達しています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4		現状では機会の設定が出来ていないが、今後検討していきたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			各マニュアルを策定しており、定期的に職員や保護者への周知を徹底していきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年二回、防災訓練を実施しており、実施内容は消防署にも提出しています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		社内研修において、虐待に関する研修を行っています	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	3		該当者がいないため、未実施。身体拘束の同意書は準備しています
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		7		該当者がいないため、未実施
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			ヒヤリハット事例集は作成していますが、振り返りは不十分です。定期的にヒヤリハットの振り返りが必要と考えています